

平成20年10月23日

各 位

上場会社名 株式会社 三交ホールディングス  
 代表者 取締役社長 奥田 卓廣  
 (コード番号 3232)  
 問合せ先責任者 取締役 中野 達郎  
 (TEL 059-213-0351)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,000	0	△650	△500	△5.69
今回発表予想(B)	48,900	200	△240	△90	△1.02
増減額(B-A)	△1,100	200	410	410	――
増減率(%)	△2.2	――	――	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	44,896	407	5	△135	△1.64

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	118,000	4,300	2,700	1,700	19.36
今回発表予想(B)	120,000	3,300	2,000	1,300	14.79
増減額(B-A)	2,000	△1,000	△700	△400	――
増減率(%)	1.7	△23.3	△25.9	△23.5	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	113,521	4,218	3,170	1,716	20.73

## 修正の理由

平成21年3月期第2四半期累計期間の連結業績につきまして、売上高は、流通業の石油製品販売において、新規出店効果、及び販売単価上昇に伴う増収が見込めますものの、不動産事業におけるマンション等分譲事業の落ち込みによって減収となる見込みであります。

営業利益は、運輸業において、主にバス事業が堅調に推移しましたことと、全社的な経費削減効果によって、収支均衡見込みから2億円の利益計上となる見込みであります。

経常損失は、金融収支の改善効果等に伴い損失改善となる見込みであります。

四半期純損失は、経常収支改善に伴い損失改善となる見込みであります。

平成21年3月期通期の連結業績につきまして、売上高は、流通業の石油製品販売において、新規出店効果に伴い増収となる見込みであります。

営業利益は、主に不動産事業のマンション分譲における販売コストの増加に伴い減益となる見込みであります。

この結果、経常利益、当期純利益も、それぞれ減益となる見込みであります。

なお、個別業績予想につきましては、平成21年3月期第2四半期累計期間及び通期ともに、前回発表と変更ありません。

上記の予想は、本資料の発表日現在のデータに基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によってこれらの予想と異なる可能性があります。

以 上